関 中 学 校 だ よ り

第２号　令和３年５月28日
ホームページアドレス http://www.seki-j.nerima-tky.ed.jp/

線を引くのは自分　～小さな勇気をもとう～

校長　大澤　秀吉

今年度の中学校生活が始まって、２カ月が過ぎようとしています。

新たな環境や立場に慣れてきましたか？

今年は、学習活動、部活動、学校行事などに目標を立てて行動し振り返りを行いながら計画を調整しやり遂げることが、大切であるという、話をしました。

どうですか、この２カ月を振り返って、実践できていますか？

なかなか実践できない人は、「でも・・・」「～していたい」という自分の気持ちに負けてしまっている場合が多いです。

締め切りや約束事などを守れなかったときに「でも・・・」などと言い訳をして、守れなかった理由を正当化していませんか？

予定の時間が来て、次の行動に移さなければならないときに「もっとゲームをしていたい」「もっと寝ていたい」など、誘惑に負けてしまっていることはありませんか？

このようなことを続けていると、締め切りを守らないことや計画して行動しなくてもよいという習慣が身についてしまいます。そうすると、いくら頑張って目標や計画を立てても、「でも・・・」や「～していたい」が顔を出してきて、いつもと同じパターンの繰り返しとなってしまいます。

では、どうしたら目標を立て計画に行動できるように成長できるのでしょうか。

自分以外の「先生に注意してもらう。家族に注意してもらう。友人に注意してもらう。」でしょうか？

ちがいます、他人にしてもらうものではなく、この場面で、この境目で切り替えるという線を自分で引かなければなりません。小さな心の迷いに打ち勝つための小さな勇気をもってください。

授業と休み時間など学校で過ごしている時、家で過ごしている時、気の合う仲間と過ごしているときなど、小さな勇気をもつ場面、線を引く場面は人によって様々です。

悩みながら線を引くときもあるでしょう、しかし、これを繰り返していくうちに「自己選択」「自己決定」「自己関与・自己責任」という自己決定能力が身につきます。

日常の何気ない様々な場面に潜んでいる能力獲得のチャンス！

さあ、自分で線を引きましょう！　小さな勇気をもって！

ICT 教育の推進

タブレットを有効活用するために、関中学校ではｅライブラリという小学校から高校入試の問題まで対応できるソフトを学校独自で、導入しています。これは、学校だけではなく家庭でも自分で何を学びたいのか選択して取組めるものです。家庭でもご活用いただけたらと考えております。

その他、タブレットは学校の授業におけるクラスごとの意見集約や調べ学習、実技教科の作業手順の確認等にも活用されています。

下の写真は、１年生の美術の授業の様子です。長尾教諭がデッサンの描き方の動画を作成し、個々の生徒が自分の作業と照らし合わせてデッサンを進めている様子です。

6月5日(土)実施の学年別運動会へ向けて～中央委員会の取組「運動会旗の作成」～

今年度の運動会は、無観客、学年別、時差で行われるため、実施時間は別でも関中学校の運動会であることが大切と、中央委員が話し合い兄弟学級で応援旗を作成し当日掲示をすることになりました。

３年生がデザインを考案し１，２年生に作業を指示します。

指示を受けた１，２年生は、色塗り等の作業を経て完成させます。

次回の学校だよりに出来上がった運動会旗の写真を掲載する予定です。

教育実習

５月１０日（月）～５月２８日（金）の期間で教育実習が行われています。

今年度は、杉山梨緒教育実習生（理科）と永井もも教育実習生（国語）の２名が教師になるという夢の第一歩として実習事業に臨んでいます。しっかり教材研究をして熱心にわかりやすい授業に取組んでいます。

また、休み時間も生徒と交流し、生徒たちも楽しそうにしています。是非、夢を実現させてほしいと願っています。